

## 業務改善の実施状況報告

組織名	岩手南部森林管理署遠野支署	連絡先	0198-62-2670
所管する業務の概要	国有林の管理・経営、治山事業の実施、民有林の指導等		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(業務における心構え)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来客者にはこちらから挨拶を行い、待たせることのないよう迅速な対応を心掛けている。</li> <li>・電話対応は接遇マニュアルに沿って実践している。</li> <li>・事務所所掌及び組織の細目に関する規定を再確認し、担当する業務内容と責任範囲を理解し業務に当たっている。</li> <li>・ビジョン・ステートメントの実現に向け「7つの問いかけ」を常に考えながら行動している</li> <li>・毎日見る掲示板を必ずチェックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来客又電話対応については、接遇マニュアルの実践等により迅速で相手に不快を与えない対応を心掛けている。</li> <li>・担当者不在時の対応に当たっては、ガルーンのスケジュール登録の活用が十分とはいえないことからその活用を促進する。</li> <li>・農水省のビジョン・ステートメントの配布によりそれを意識した行動を心掛けている。</li> <li>・農水省 NW 掲示板、農水省改革について話題としては少ないが出てくるようになってきている。</li> </ul>
<p>(農林水産業の振興と消費者利益の関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・請負業務を計画的に発注し各種契約を迅速に進めることにより地域の林業振興を図っている。</li> <li>・レクリエーションの場としての国有林の利用促進に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的及び早期発注のため関係者間の事前調整や打ち合わせが度々行われており、計画的に発注できている。</li> <li>・行事、支署 HP を通じ国有林の利用促進について周知を図っているところである。</li> </ul>
<p>(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民からの問い合わせについては、丁寧な対応と相手が理解できるような説明を心掛けている。</li> <li>・森林教室・分収造林・地元のイベント（産業まつり等）の要請については可能な限り応じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント等への参加は地元で好評を得ており今後も継続して取り組んでいく。</li> </ul>

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(国民への情報提供姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民からの問い合わせについては親切な対応を心掛け、担当者不在の場合は相手方の連絡先を聞き、改めて担当者から連絡するようにしている。</li> </ul>	・情報、問い合わせを共有できるようにしていく。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(政策のニーズ等の把握に向けた取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報把握を行うため、各種行事には参加するよう心掛けている</li> <li>・地域の情報等は森林官からの情報提供及び聞き取りにより把握を行っている</li> <li>・現場の情報については早急に調査を行い事業立案に活かすとともに上司への情報提供を行う必要のあるものについては速やかに報告している。</li> </ul>	・得られた情報からの事業への立案までは至っていないが、情報の集約は進められている。
<p>(関係部署との連携強化のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策・事業を企画立案・推進する際は上局担当者に疑問点を確認してから企画等を行っている。</li> <li>・現場と本署が一体となって事業を進めている。</li> </ul> <p>(国民への政策等の説明方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等で広く政策・事業の目的や効果について解りやすく説明を行っている。</li> <li>・外部の各種会議や来客者等から問い合わせがあった場合においても政策・事業の目的や効果について解りやすく説明を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進に当たっては、早めの対応と疑問点の上局への確認を心掛ける。</li> <li>・外部会議等の場、また一般からの問い合わせにに対してもわかりやすい説明を心掛けている。</li> </ul>

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
これまでの取組実績及び現在実施している取組	今後の課題とその改善策
<p>(リスク管理の手順・ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この一年間、担当する業務に関して問題は発生していない。</li> <li>・農林水産省関連の報道は必ず一読している。</li> <li>・問題点は上司・同僚・上局と相談してリスク回避に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内での情報の共有など、連携をとりリスク回避に努めていく。</li> </ul>
<p>(過去の失敗や教訓の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット事例を職員間で共有し業務見直しの参考にしている。</li> <li>・BSE問題、事故米問題からの教訓を再認識した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットについては今後も積極的に取り組む</li> <li>・過去の失敗を繰り返さないために気軽に話し合える職場環境を作る。</li> </ul>

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<p>(円滑な組織運営の実現に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段からコミュニケーションをとり、仕事中に声をかけられた時であっても手をとめ相手の顔を見て対応している。</li> <li>・挨拶は明るくはつきりで行い職場の雰囲気作りに努めている。</li> <li>・職員間の応援や臨時雇用により業務の平準化に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の応援態勢や臨時雇用の活用を図り円滑な業務運営に努めていく。</li> </ul>
<p>(部署における独自の点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁対策等の環境に対する配慮を業務遂行の中で行っている。</li> <li>・二酸化炭素の森林吸収源対策について、施業の重要性を再認識して業務を進めている。</li> <li>・森林の多様性、重要性について国民へ情報提供している。</li> <li>・様々な視点からみて、労働安全については高い認識を持つようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁対策等の環境に対する配慮を業務遂行の中で行っている。</li> <li>・二酸化炭素の森林吸収源対策について、施業の重要性を再認識して業務を進めている。</li> <li>・森林の多様性、重要性について国民へ情報提供している。</li> <li>・様々な視点からみて、労働安全については高い認識を持つようにしている。</li> </ul>

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・特になし。	